

湯原俊二さんと「未来を創る集い」を開催



基調講演 湯原俊二さん

パネルディスカッション

浜田コーディネーターの巧みな話術により、会場の組合員に色紙を使った「Yes-No」の問いかけに会場は大いに盛り上がった

西部地域協議会は5月16日(火)、米子コンベンションセンター・小ホールにおいて、組合員200人が参加し「湯原俊二さんと未来を創る集い」を開催しました。昨年12月、連合鳥取は「第48回衆議院議員選挙鳥取2区」に元衆議院議員「湯原俊二」さんを推薦決定して以降、「湯原俊二総がかり大作戦」を展開しています。その一環として、今回は組合員参加型の集いを企画し、テーマも「子育て・教育」にしぼり、組合員の生の声を直接伝える内容としました。

■基調提案

矢辺慎一議長が「安倍強権政治をストップさせるためにも何としてでも湯原俊二さんを国会に送ろう！」と力強いあいさつしました。

次に、湯原俊二さんから本日のテーマである「子育て・教育」について基調提起がありました。その中で「日本の学校教育費の対GDP比では私費負担が大きく、公的支出は非常に低いレベルである」ことを指摘され、あわせて「所得に応じた進学率の差がでている現状も報告されました。最後に、「若者が安心して結婚・出産ができ、教育も所得の差で進学率の差が生じない制度を国が責任をもって作り、今後、日本を支える子どもたちに投資しなければならぬ」と提起されました。

■パネルディスカッション

構成組織代表6人
 西部地協・佐貫事務局長
 民進党3人、

【コーディネーター】
 浜田妙子県議会議員

各構成組織からの代表者

を見てみると、①幼い子どもがいてこれからまさに子育てをする組合員、②今まさに子育て・教育の真最中の組合員、③子どもが自立した組合員、という三つの世代のみなさんに参加していただきました。さらには、教育現場で実際に教育をする立場の組合員と様々な立場での意見を聞くことができました。

労働側のパネラーからの様々な意見を集約し、次の3点について、湯原さんからの意見を求めました。

- ① 子ども手当での増額、高校の授業料無償化、特に給付型奨学金制度についても労福協・連合を中心に求めてきたが、いかにも政府が考えていたように宣伝を行って、中味的にも対象者・給付金額も不安を解消される内容になっていない。いまこそ、連合中央と民進党が力をあわせ、大衆行動・院内闘争により給付型奨学金制度を作る取り組みをすすべきである。
- ② 国会内で教育勸語が平気で語られるようになって

きている。偏った教育にならないように民進党として抗議すべきだ。

③ 地方でも「子ども食堂」がボランティアで開設されている。格差社会を作り上げてきた政府の責任が大である。行政の責任で開設すべきである。

湯原さんからは、それぞれの課題・不安に対して自分の考え方を述べられ、引き続き民進党本部と連携して、しっかりと取り組む決意が明らかになりました。

最後に浜田コーディネーターが「みなさんの不安解消のために、民進党はしっかりと取り組む。提起していただいた政策をしっかりと実現するためにも湯原俊二さんを何としても国会に送りださなくてはならない。そのためにもみなで力を合わせ取り組もう」と訴えました。

■まとめ

佐貫事務局長が「政治とは無関心でいられても無関係ではいけない。子育て・教育はもちろん、社会保障制度等すべてが国会で決まる。政治とは生活に密着したもので、労働組合が運動の柱に政治活動を入れていくのはそのためである。引き続き、支援・協力をお願いする」とあいさつし、閉会しました。

★次ページにパネラーからの意見を掲載しています

パネラーからの意見

■これから子育てをする組合員

- ①これから教育を受けさせるのにいったいどれだけの教育費が必要なのか、まったく予想がつかない。
- ②現在育休中であるが、職場復帰する際に近くに保育所があるのか心配。知人は待機児童となったが、実際にそういうことになれば、職場復帰が遅れる。

■子育て・教育中の組合員

- ①学童に預けているが高学年になったとき断れないか。断られたら共稼ぎができなくなる。
- ②県外の大学に二人行かせているが学費、仕送りで生活が困窮状態である。



パネラーのみなさん

—すべての層の共通課題—

★教育費、生活費等、お金の問題

■子どもが自立した組合員

- ①仕事と子育ての両立が大変であった。
- ②教員の仕事はとにかく業務量（授業・テストの準備、採点、教育委員会からの調査、保護者の対応等）が多く、家庭に仕事を持ってこなくては、当日の仕事が終わらない。また、次の日の準備もできない状態である。したがって、家庭での子育て等が終わってから深夜仕事をする日々であった。



湯原俊二

りよくひ

—緑肥の想い—

一番左が湯原さん



連合鳥取推薦議員団会議
5/13 ホテルセントパレス倉吉



鳥取退職者連合西部地区協
クラウンドゴルフ大会
5/15 日吉津海浜公園

※組合行事に湯原さんと呼んでください。湯原さんの想いを直接聞いてください。そして、私たちの声も湯原さんに届けましょう!

鳥取退職者
連合中部地区協
クラウンドゴルフ大会
5/15 北栄町お台場広場

紙バ連合単組代表会議で
意見交換
5/25 王子倶楽部

支援の輪を
広げましょう

労働組合の活動と政治の関わり方を考える

—2017推薦議員団会議&政治研修会を開催—

■推薦議員団会議 ■—執行委員20人&推薦議員13人参加—

5月13日(土)、連合鳥取執行委員と連合鳥取が推薦する県議会議員と市町議会議員が集い「連合推薦議員団会議」を開催しました。

会議には、次期衆議院選挙「鳥取県第2区」に連合鳥取が推薦決定している湯原俊二さんも参加し、推薦議員からの取り組み報告と湯原俊二さんを支援する取り組みについて報告を受けました。

最後に、弘中光典政治センター代表幹事より、次期衆議院選挙に向けて民進党との連携を深め、連合鳥取と推薦議員団とともに取り組んでいくことが確認されました。



推薦議員団会議の様子

■政治研修会 ■—総勢72人参加—

「推薦議員団会議」に引き続き、各地協・青年委員会・女性委員会ならびに産別の役員も参加し、「連合政治研修会」を開催しました。

初めに、黒田正和連合労働法制対策局長より「『働き方改革実行計画』と今後の動向について」と題し講演をいただきました。政府の「働き方改革実現会議」における議論経過、3月28日決定の「働き方改革実行計画」の概要について説明され、そしてその評価として、「労基法に罰則付き時間外労働規制の導入という大改革となったが、今後は個別労使が時間外労働削減に向けた努力と36協定の適正化が必要」と解説されました。

続いて、大城紀夫連合沖縄会長より「沖縄の現状と今後の課題」について講演いただきました。「普天間基地のある宜野湾市職員だった当時から行政・労組の立場で基地問題に取り組んできた。旧民主党政権時の沖縄基地政策はパンドラの箱を開けたと批判を浴びたが、県民にとっての長年の基地への思いを政策にしたものだった。辺野古問題も予断を許さない。みなさんの理解を得ながら運動に取り組みたい」と強く訴えられました。

最後は、本川博孝連合鳥取会長の音頭による参加者全員での「団結ガンパロウ!」で締めくくりました。

【政治研修会】



写真上/講師：黒田正和連合労働法制対策局長



写真下/講師：大城紀夫連合沖縄会長

Photo News

—沖縄で見て・聴いて・感じたもの—
—昨年につき、2度目の「平和に関する現地学習会」を実施—

Pick Up!



宜野湾市役所屋上から普天間基地を臨む



連合沖縄会長に平和を祈るカンパを手渡す。この後、意見交換を実施。



辺野古移設反対派の抗議の様子



名護市辺野古のキャンブシュワブにて後るの海では、見張り船と計画反対団体との船が絶えず巡回している



住宅のすぐ横、市街地にある普天間基地
“沖縄県民の隣にオスプレイ”
毎日の騒音、墜落・事故への恐怖を感じる



鳥居ビーチを読谷村自治会の池原さんの案内で見学



チビチリガマにて案内は連合沖縄役員



ひめゆりの塔

協力して謎解き&体力に挑戦!
—青年委員会産別交流会を開催—

5月20日(土)、青年委員会は「森の国 大山フィールド アスレチック」において、「産別交流会」を開催しました。当日は好天にも恵まれ、絶好のトレジャーハント日和となり、産別から31人が参加しました。

まず、自己紹介も含めアイスブレイクを行い、チーム内の緊張をほぐし団結力を高めてからトレジャーハントへと臨みました。内容は、森の国古代地図に8つの謎めいた指令が記載されており、その地図を頼りに隠された数字を解き明かしていくというものでした。実際に私もチームに加わり、トレジャーハントへいざ出発！ところが、思っていた以上に指令が難しく、チームの仲間と頭を悩ませながら進めていきました。なんととってもたくさんの自然に囲まれた中での探検は冒険心をくすぐられ、小さな子どもから大人まで楽しめる内容になっていました。チーム全員で幾多の指令を乗り越え、ゴールした瞬間の感動や達成感は何物にも代えられない貴重な経験となりました。

今回のこのイベントの中でいろいろな産別の参加者と交流を深めることができ、また、協調性や社会性、団体行動の重要性を改めて認識できたのではないのでしょうか。産別を超えての繋がりや今回参加して感じたこと・学習したことを大切に、みなさんが参加したくなるような企画を開催したいと思いますので、積極的なご参加をよろしく願いいたします。

(寄稿 青年委員会幹事 中嶋和宏さん)



★冒険出発前の作戦会議★☆☆



集めた数字で扉が開くか!?
ドキドキの瞬間!!

5月19日(金)から21日(日)、連合鳥取執行委員を対象とした「平和に関する現地学習会」を実施し、9人が参加しました。

<参加者の感想>

- ・報道で見聞する情報と異なる現地の状況を見聞きすることができた
- ・ひとまずは、沖縄に関心を持ち続けること、この訪問で知ったことを一人でも多くの人に伝えること、世の中で起こるできごとを賛否両論の立場から吟味すること、このことができることではないかと思った。

連合鳥取法律事務所(顧問弁護士)のご紹介

連合鳥取構成組織の組合員とご家族が利用できます

相談の流れ

① 連合鳥取へ申し込み
フリーダイヤル 0120-154-052
簡単に相談内容の聞き取りをします



③ 相談者へ連合鳥取より連絡
<電話・面談の予約日時等>

② 連合鳥取より弁護士事務所へ申し込み・連絡

④ 相談者より弁護士事務所へ電話・面談等で相談してください。

注意 相談は無料

(ただし、具体的な調査・書類作成等、費用が発生することがあります)

・顧問弁護士がすでに相談者の争議相手と顧問契約を結んでいる場合など、相談や依頼を受けることができない場合があります。

<顧問弁護士>
弁護士法人 河本・森法律事務所 / 河本充弘弁護士 森祥平弁護士

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取 / 第14回男女平等参画学習会

- ◇日時 2017年6月17日(土) 10時00分～12時00分(予定)
- ◇場所 まなびタウンとうはく
- ◇内容 ①講演「男女平等を取り巻く近年の社会情勢及び連合の取り組みについて」(仮) 講師/連合 副事務局長 山本和代さん
- ②意見交換
- ③産別取り組み事例報告 UAゼンセン・私鉄総連
- ④まとめ

連合 / 平和行動in沖縄

- ◇日時 2017年6月23日(金)～24日(土)
- ◇内容 1日目/2017平和オキナワ集会・平和交流会
- 2日目/ピース・フィールドワーク 「米軍基地の整理・縮小」と「日米地位協定の抜本的見直し」を求める行動

連合鳥取 / 労働政策セミナー・政策討論集会

- ◇日時 2017年7月1日(土) 13時00分～16時30分(予定)
- ◇場所 倉吉未来中心・セミナールーム3
- ◇内容 ①時局講演会 テーマ・講師選定中
- ②活動報告 報告者/民進党鳥取県総支部連合会 副代表 湯原俊二さん
- ③連合鳥取2018年度政策・制度要求(案)提起・討論 提案者/各政策責任者

女性のための
**労働相談
ホットライン**
～職場のモヤモヤありませんか?～
2017年6月12日(月)～13日(火)
午前10時～午後7時

フリーダイヤル
0120-154-052

秘密厳守 相談無料 携帯スマホOK

※電話をかけた地域の連合の事務所につながります。
※上記フリーダイヤルは常設です。
上記期間以外でも相談を受け付けています。

*ひとりでご悩んだり、我慢したりせずに、一緒に働く仲間やお友達に、お気軽にご相談ください。
*連合鳥取労働相談ダイヤルをご紹介ください。

“ザ”議員

足立 考史

鳥取市議会議員

日頃より大変お世話になっていますことに心より感謝申し上げます。

この度の報告は、遠く千葉県から梨を作るために移住されたご家族(夫婦・幼児2人)から相談と苦情を伺ったことがきっかけで取り組んだことです。

助成制度の根本的な解決には繋がりませんが、縁あって鳥取に移住されたのだから、少しでも好きになってもらうために、仲間と「移住者との交流 ふれあい市」を計画しました。そこでは熊本出身の方も参加していただき、それぞれが生産された米・白ネギ・芋・味噌・かき餅などの農作物・加工品を試食販売して来場者と交流をしていただきました。鳥取に住んで良かったと少しでも思っていただけなら幸いです。

このイベントにたくさんの方から協賛していただき、農作物の提供やお手伝いをいただき心より感謝申し上げます。できましたら今後も継続したいと思っていますので、ご賛同いただける方のご協力をお願いいたします。



移住者との交流 ふれあい市

中田 利幸

米子市議会議員

連合に結集する組合員のみなさんの日ごろの活動に対し心より敬意を表します。

議員になって18年が過ぎました。この間、雇用の確保と経済の活性化、安心して働ける生活基盤の向上を基本に据えて、都市機能と交通政策、教育・子育て、福祉などの政策分野に取り組んできました。

議員になった当初、市内1箇所しかなかった病時・病後時保育も現在3箇所まで増やしましたが、引き続き安心して働く環境づくりのため増設に向けて取り組みます。

さて、政治勢力の構図は国も地方も厳しいものがありますが、自治体の取り組みによって地方から変えていく事が肝心です。何卒、よろしく願い申し上げます。



「農業と福祉の連携による6次産業化」について
2017.5.10 視察にて

てんじんのうしろ

先日、大学へ入学した次女の初めての保育実習が終わりました。幼い子どもに接する体験は命を預かる貴重な体験であったと思います。たった五日間でしたが、彼女は日々成長していききました。

一日目、「疲れたー。」

二日目、

「子どもってかわいいー。」

三日目、「注意ばかり。」

四日目、涙。涙。

五日目、

「やっと終わったー。」

涙は自分の考えたことをすべて否定されたことが原因のようでした。

金子みすゞさんの詩の中に「みんなちがって、みんないい。」という言葉があります。私はこの言葉が好きです。人と違うということ、は、愉快で、相手を受け入れ、相手を大切に思うことにつながります。そう考えると、保育実習の先生も、否定指導ではなく、「一緒に考えよう指導」であってほしかったと思います。

連休が終わり、元気で大学へ行く彼女を見て、たくさんの人と関わりを大切に、広い視野を持って成長してほしいと願っています。

「がんばれ、めぐみ先生」

